

江田島市地域経済動向調査（令和2年2月）

■全国の景況

◇月例経済報告（令和元年12月号より）

『景気は、輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しているものの、緩やかに回復している。』

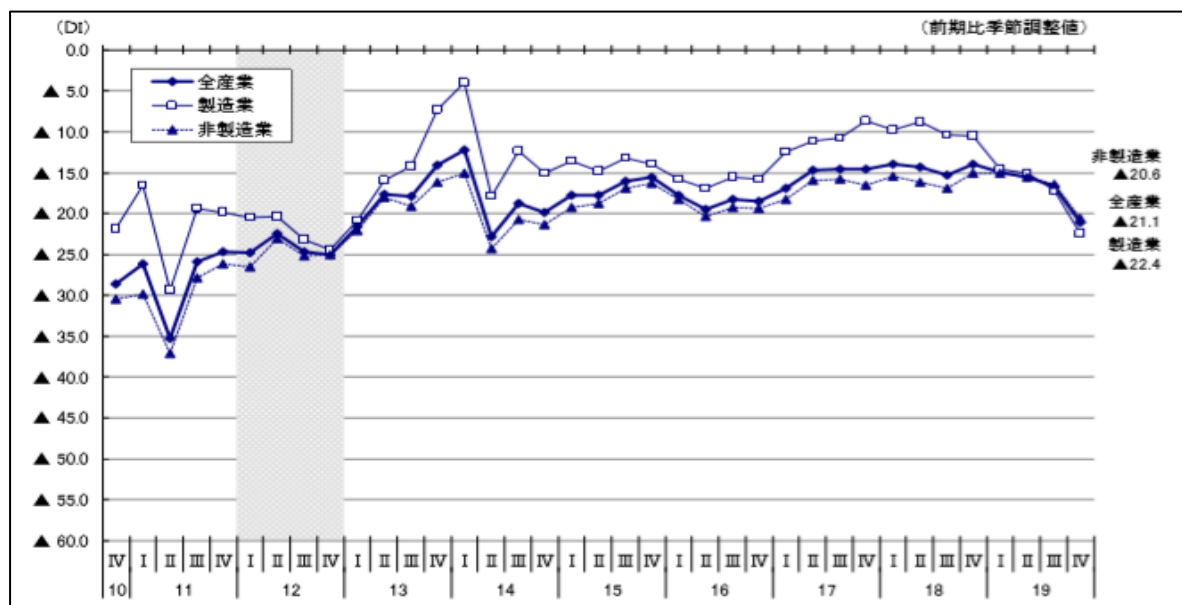
- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、機械投資に弱さもみられるが、緩やかな増加傾向にある。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、一段と弱含んでいる。
- ・企業収益は、高い水準にあるものの、製造業を中心に弱含んでいる。企業の業況判断は、製造業を中心に引き続き慎重さが増している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。
- ・先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。

◇中小企業景況調査（2019年10～12月より）

『中小企業の業況判断DIは、4期連続で低下したが、今後の見通しでは改善の動きが見られる。』

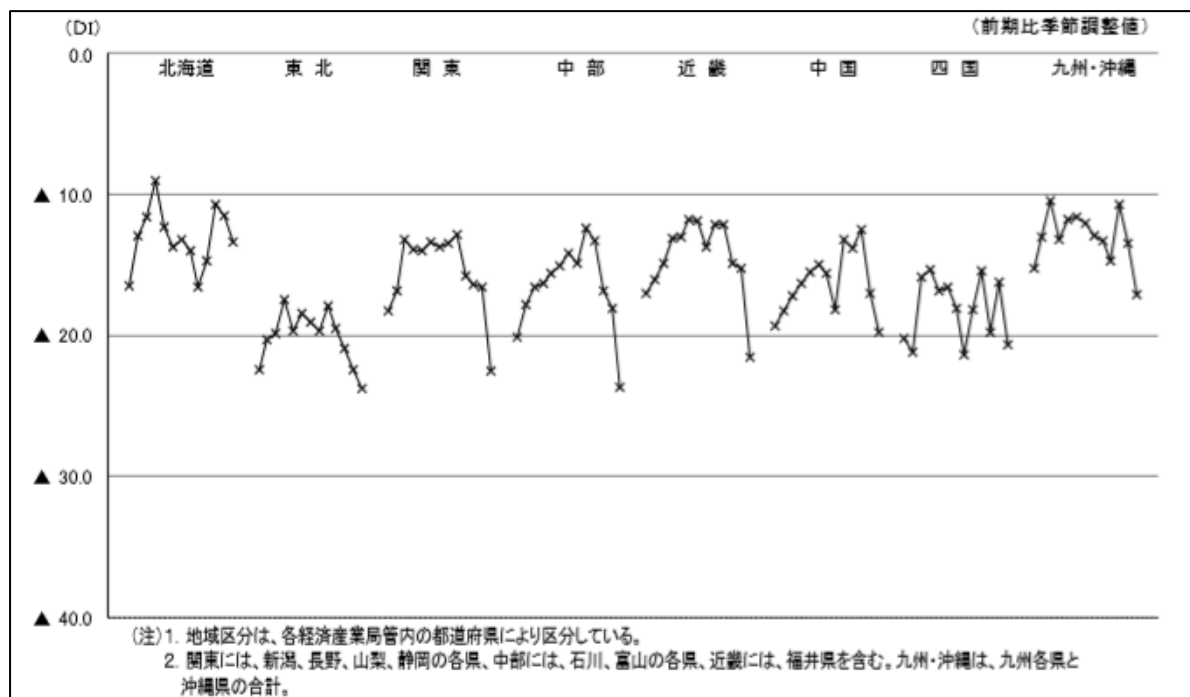
- ・2019年10～12月期の全産業の業況判断DIは、(前期▲16.6→) ▲21.1（前期差4.5ポイント減）となり、4期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・製造業の業況判断DIは、(前期▲17.2→) ▲22.4（前期差5.2ポイント減）と6期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・非製造業の業況判断DIは、(前期▲16.4→) ▲20.6（前期差4.2ポイント減）と3期連続してマイナス幅が拡大した。

図表1 中小企業の業況判断（2019年10月～12月期）



- ・地域別の業況判断D I（全産業）は、近畿、関東、中部、四国、九州・沖縄、中国、北海道、東北のすべての地域でマイナス幅が拡大した。

図表2 中小企業の地域別業況判断D Iの推移（全産業）
（2016年10月－12月期～2019年10月－12月期）



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告（令和2年1月）

『県内経済は、生産に弱さがみられるものの、緩やかに回復している』

・個人消費：「回復しつつある」

百貨店販売、スーパー販売は衣料品などが低調であり、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも低調であり、前年を下回っている。家電販売は白物家電やパソコンなどが、ドラッグストア販売は食料品などが好調であり、前年を上回っている。これらのことなどから、個人消費は、全体では回復しつつある。

・生産活動：「回復の動きに一服感がみられる」

電気機械は、テレビなどの液晶ディスプレイ向け電子部品の需要が堅調であることなどから、増加している。一方、輸送機械は、自動車の一部車種の需要に弱い動きがみられることなどから、減少している。一般機械は、自動車部品向けプラスチック加工機械の需要に弱い動きがみられることなどから、減少している。鉄鋼は、設備トラブルの影響などにより、減少している。プラスチック製品は、スマートフォン向けの需要に一服感がみられることなどから、減少している。このように、生産活動は、全体では回復の動きに一服感がみられる。

・雇用情勢：「着実に改善しており、人手不足感が引き続き強い状況にある」

有効求人倍率（元年9～11月）は1.98倍と、全国の1.57倍と比べ高水準で推移しているほか、新規求人倍率も引き続き高水準で推移するなど、雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が引き続き強い状況にある。

・設備投資：「元年度は前年度を上回る見込み」

○製造業では、「その他の輸送用機械」、「食料品」などで減少するものの、「自動車」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

○非製造業では、「金融・保険」、「小売」などで減少するものの、「運輸・郵便」、「その他のサービス」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

・企業収益：「元年度は減益見込み」

○製造業では、「その他製造」、「木材・木製品」などで増益となるものの、「生産用機械」、「非鉄金属」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

○非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、「建設」、「学術研究、専門・技術サービス」などで増益となるものの、「小売」、「運輸・郵便」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

・企業の景況感：「『下降』超幅は拡大」

企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

・住宅建設：「前年を上回る」

新設住宅着工戸数で見ると、給与住宅、持家が減少しているものの、分譲住宅、貸家が増加していることから、前年を上回っている。

・輸 出：「前年を下回る」

県内通関実績（円ベース）で見ると、輸出は、電気機器、鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アジア、中南米などで減少している。なお、輸入は、石炭、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アジア、大洋州などで減少している。

表図3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整値) (2015年=100)		電力需要 実績 伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売額 伸び率 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 費金額 伸び率 前年比	所定外 労働時間 伸び率 前年比	
	指数	前月(年、期)比				戸数合計	持家	貸家			
2015年	100.0	2.7	0.9	△ 0.5	△ 9.8	△ 1.0	△ 1.0	15.2	※△ 4.9	△ 1.0	
16	101.2	1.2	—	△ 0.5	△ 2.5	12.6	5.1	17.4	※△ 2.8	1.9	
17	103.3	2.1	—	△ 1.5	6.5	14.2	△ 1.8	14.5	※ 3.3	0.6	
18	100.3	△ 2.9	—	△ 1.2	2.2	△ 12.0	△ 2.2	△ 14.2	※ 16.6	△ 2.3	
18年 7~9月	91.3	△ 12.5	2.5	△ 1.7	5.5	△ 11.4	△ 2.3	△ 6.4	0.4	△ 2.8	
10~12	102.3	12.0	△ 0.1	△ 0.7	9.0	△ 16.1	5.3	△ 29.9	5.1	△ 1.8	
19年 1~3	103.6	1.3	2.0	△ 0.5	△ 3.0	△ 1.2	2.2	△ 13.6	63.4	△ 2.2	
4~6	105.4	1.7	0.3	1.3	0.5	17.7	15.7	△ 5.1	68.2	0.0	
7~9	97.8	△ 7.2	△ 0.9	1.4	4.2	△ 8.5	3.4	△ 27.1	32.1	0.0	
18年 10	101.4	3.0	6.6	△ 0.4	13.5	△ 23.6	10.1	△ 41.9	△ 22.3	△ 0.8	
11	102.0	0.6	△ 1.3	0.1	12.0	△ 14.3	5.5	△ 24.0	17.6	△ 0.8	
12	103.4	1.4	△ 5.3	△ 1.4	1.7	△ 10.2	0.0	△ 24.6	53.5	△ 3.9	
19年 1	100.8	△ 2.5	3.6	△ 2.2	3.0	△ 1.6	△ 1.8	6.9	93.3	△ 3.4	
2	102.0	1.2	2.0	0.1	△ 1.4	14.3	6.5	△ 5.4	△ 7.5	△ 2.5	
3	108.0	5.9	0.4	0.9	△ 7.9	△ 15.3	1.8	△ 31.1	107.6	△ 0.9	
4	103.0	△ 4.6	△ 2.4	0.7	1.5	9.7	13.2	△ 15.6	38.8	0.8	
5	102.3	△ 0.7	1.3	1.3	5.5	△ 15.8	5.4	△ 28.0	118.3	△ 0.8	
6	110.9	8.4	2.1	2.0	△ 4.5	64.1	26.6	26.6	75.3	0.0	
7	101.7	△ 8.3	△ 0.2	△ 3.8	1.5	△ 3.5	△ 2.0	△ 29.5	63.9	2.6	
8	92.4	△ 9.1	△ 3.6	0.7	△ 3.8	△ 14.0	9.2	△ 33.1	15.4	△ 5.2	
9	99.3	7.5	1.2	8.1	13.2	△ 7.7	3.6	△ 17.1	16.5	3.5	
10	95.7	△ 3.6		△ 9.7	△ 26.3	34.7	1.1	63.8	44.0	△ 0.8	
11	P 94.1	△ 1.7		△ 1.7	△ 11.1	△ 22.1	△ 24.0	△ 19.0	△ 2.4	△ 3.2	
調査機関	広島県統計課		資源エネルギー庁	中国経済産業局	中国運輸業 総合協会の調査	国土交通省			西日本建設保証	県統計課	

(注) Pは速報値、鉱工業指数の暦年値は厚指数。電力需要実績は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値で、2016年3月までは中国電力公営の大口電力需要を差引している。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗別値、公共工事費金額と有効求人倍率の※は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	消費 者物価 指数 伸び率 前年比 (広島市)	銀 行		手 形 交 換		不 渡 手 形 (内取引停止処分)		企 業 倒 産 (負債1千万円以上)	
			総 預 金 (億円)	貸 出 金 (億円)	枚 数 (千枚)	金 額 (億円)	枚 数 (枚)	金 額 (万円)	件 数 (件)	負債総額 (百万円)
2015年	※1.52	1.5	120,678	84,246	1,229	35,466	80	4,654	170	25,805
16	※1.68	0.0	122,718	86,678	1,141	33,994	28	4,042	127	60,005
17	※1.88	0.3	126,134	90,150	1,055	30,304	81	5,959	155	27,960
18	※2.08	0.8	129,242	94,233	970	27,930	94	8,506	184	31,553
18年 7~9月	2.10	1.0	129,174	96,307	239	6,809	1	10	49	15,687
10~12	2.08	0.5	126,671	97,701	236	7,688	41	4,493	52	7,062
19年 1~3	2.11	△ 0.3	131,899	98,109	232	7,092	12	475	48	9,812
4~6	2.10	0.2	131,433	99,050	231	7,705	12	1,575	43	2,852
7~9	2.02	△ 0.1	131,112	99,358	246	7,236	1	52	41	3,573
18年 10	2.08	1.1	128,133	96,016	99	2,842	12	353	26	2,995
11	2.08	0.4	127,791	96,588	79	2,376	26	2,655	12	2,838
12	2.07	0.1	128,671	97,701	60	2,471	3	1,485	14	1,249
19年 1	2.08	△ 0.5	128,553	97,612	95	2,626	1	2	14	7,692
2	2.11	△ 0.4	129,242	97,895	77	2,395	7	187	20	1,514
3	2.13	0.0	131,899	98,109	60	2,071	4	287	14	606
4	2.14	0.3	132,162	98,150	76	2,951	4	305	15	615
5	2.12	0.2	130,196	98,571	98	2,772	4	1,191	10	796
6	2.06	0.0	131,433	99,050	57	1,982	4	80	16	1,441
7	2.03	0.1	130,004	99,194	98	2,701	—	—	18	1,096
8	2.02	△ 0.2	131,352	99,437	57	2,033	1	52	11	373
9	1.99	△ 0.3	131,112	99,358	91	2,502	—	—	12	2,104
10	1.99	0.1	131,178	99,568	74	1,876	23	3,286	34	5,601
11	1.95	0.5	131,542	100,051	54	1,728	16	1,950	14	830
調査機関	広島労働局	総務省	日本銀行広島支店		広島県銀行協会			帝国データバンク広島支店		

(注) 有効求人倍率の※は年度で厚指数、年度及び四半期の数値は月平均、総預金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高、年次値は3月末残高、銀行には第二地方銀行協会加盟行を含む。

■江田島市の景況

◇中小企業景況調査（令和元年12月）

『江田島市の景況は全国及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、令和元年10月～12月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・令和元年10月～12月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲16.4であり、全国と比較して、4.7ポイント高くなっている。
- ・江田島市の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、D Iは▲46.7であり、全国値・広島県値より低い値となっている。

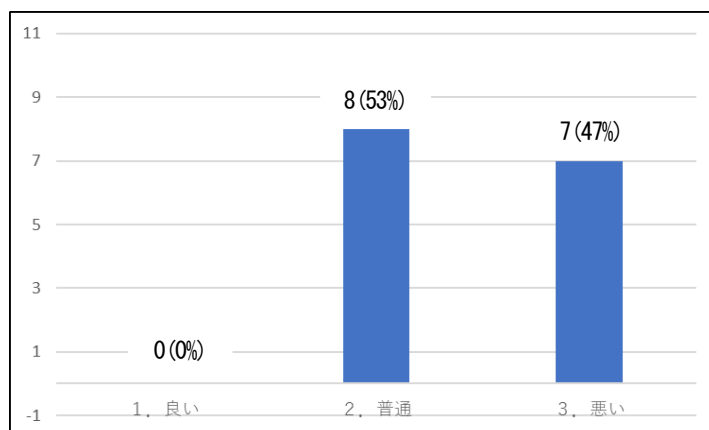
図表4 景況判断状況（全産業）

（前期比）

	2018年				2019年			
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月
全国	▲13.9	▲14.3	▲15.3	▲13.9	▲14.9	▲15.5	▲16.6	▲21.1
広島県	▲14.5	▲15.2	▲17.0	▲7.5	▲9.7	▲10.9	▲13.7	▲16.4
江田島市	—	▲33.3	▲20.0	▲33.3	▲40.0	▲33.3	▲46.7	▲46.7

- ・江田島市15社分の現在の景況感は次のとおりである。
なお、令和元年10月～12月に設備投資を実施した事業者はなかった。

図表5 現在の景況感



- ・中小企業景況調査では、全国で約18,000企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・江田島市商工会においては、製造業では「製造設備の不足・老朽化」が、小売業では「大・中型店の進出による競争の激化」が、建設業では「大企業の進出による競争の激化」及び「官公需要の停滞」が、サービス業では「利用料金の低下・上昇難」及び「需要の停滞」が経営上の問題点の1位になっている。

図表6 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全 国	需要の停滞	製造設備の不足・老朽化	原材料価格の上昇
	江田島市商工会	製造設備の不足・老朽化	—	—
建設業	全 国	従業員の確保難	熟練技術者の確保難	材料価格の上昇
	江田島市商工会	大企業の進出による競争の激化 官公需要の停滞	民間需要の停滞 材料価格の上昇	その他
小売業	全 国	需要の停滞	消費者ニーズの変化への対応	大・中型店の進出による競争の激化
	江田島市商工会	大・中型店の進出による競争の激化	駐車場の確保難 人件費の増加 販売単価の低下・上昇難	仕入単価の上昇
サービス業	全 国	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	従業員の確保難
	江田島市商工会	利用料金の低下・上昇難 需要の停滞	利用料金の低下・上昇難 需要の停滞	人件費以外の経費の増加 材料等仕入単価の上昇

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・令和元年12月末時点の江田島市内中小企業の保証承諾件数は69件、金額は758百万円であり、前年同月比では減少している。
- ・令和元年12月末時点の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は448件、金額は3,584百万円であり、前年同月比では減少している。

図表7 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	平成30年12月				令和元年12月			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
江田島市	118	1,383	486	4,053	69	758	448	3,584
広島県	12,968	137,293	60,621	431,851	11,752	129,941	56,763	413,489

以 上